

Lute, Ud, Leader
TAKASHI TSUNODA



古いけれど新しい。
どこが懐かしいけれど、
ほかのどれとも似ていない。
音楽の洋の東西・時代を
飛び越えて、
さあ、タブラトゥーラといっしょに
不思議の国に遊びに行こう！

Fiddle
MIZUHIRO TASAKI



オープニングコンサート ————— 2

不思議の国の タブラトゥーラ

1998年9月19日(土) 15:00開演
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

PROGRAM

悲しみはつのもりて (13世紀フランス)
バラータ (14世紀イタリア)
ビリヤンシーコス (16世紀スペイン)
10月の詩
サウダーデ
バルマ
夜の蟹
エル・ゾンブレロ
カレリア
シネマ (以上オリジナル曲) ほか

Recorder, Pommer
HIROSHI EZAKI



Saz, Cittern
YOSHIIHIKO ISHIMORI



Percussion, Dulcimer
IKUO KONDO

主催=財団法人びわ湖ホール
入場料=一般4000円/学生席2500円(いずれも全席指定)
●6歳未満のお子様はご入場になれません
チケット取り扱い
●びわ湖ホール TEL.077-523-7136
●チケットぴあ TEL.06-363-9999
●チケットセゾン TEL.06-232-9090

前売り開始 6月27日(土) 10時
友の会優先発売開始 6月24日(水) 10時

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号

不思議の国の タブラトゥーラ

古いけれど新しい。どこか懐かしいけれど、
ほかのどれとも似ていない。

音楽の洋の東西・時代を飛び越えて、
さあ、タブラトゥーラといっしょに
不思議の国に遊びに行こう!

中世のヨーロッパ、音楽は人々の生活の中に溶け込み、欠かせないものとして楽しまれて
いました。演奏はコンサートといった形よりもっと自由で、聴き方も様々。そんな中世ヨーロッパ
のスタイルで音楽を遊ぶ「中世嬉遊楽団」が時空を遙か飛び越えて、現代にやってきました。
そう、「タブラトゥーラ」です。

といっても、中世の音楽をそのまま再現するだけではなく、すべてがタブラトゥーラ流。個
性豊かなメンバー5人は、鍛えられた技術を自由自在に操りながら、洋の東西・時代を越えた
現代的アレンジで演奏。それぞれの音楽性が混然一体となったサウンドは、まるでびっくり箱
から飛び出してきたような面白さです。演奏のスタイルも自由なら、場所も自由で、コンサート
ホールのみならず、教会、神社の境内、能楽堂、美術館、そして大道芸まで神出鬼没の大
活躍。巧みな話術で観客をも巻き込んで繰り上げられるコンサートは、文句なしのエンタテイ
メント、古楽のジャンルを超えてファンを増やしています。

タブラトゥーラが使っている楽器もまた、魅力のひとつ。中世・ルネサンス時代のヨーロッパ
でとても愛されていたけれど、いまでは殆どその音色を聴く機会がないものや、現在使われ
ている楽器の祖先にあたるもの。それに、十字軍の遠征を通じて中世ヨーロッパにもたらされ、
現在でもシルクロードで演奏されている民族楽器なども登場します。

どこか懐かしいような不思議なタブラトゥーラの音楽で、あなたも遊んでみませんか?

Tablatura

タブラトゥーラ

1984年に、リュート奏者のつのだかしを中心に結成さ
れた古楽器のアンサンブル。ヨーロッパ中世・ルネサ
ンスの舞曲をはじめとして、メンバー自身の作曲による新
しい音楽も積極的にレパートリーにしている。1994年、
カナダの2つの音楽祭に出演。1996年には、国際交流
基金の主催事業で、エジプト、イタリア、オーストリア、ス
ロヴェニアへの演奏旅行を行ない、各地で称賛を浴びた。
1997年にも同基金の主催でインド、パキスタン、バング
ラデシュへのツアーを行い、現地の音楽祭と交流する
など、国際的にも活躍している。5枚のオリジナルCDを
発表しているほか、ベストアルバムもある。

石森愛彦

近藤郁夫

つのだかし

江崎浩司

田崎瑞博



つのだかし (リュート、ウード)

ドイツ国立ケルン音楽大学リュート科卒
業。ソリストとして、また歌曲、オペラや
室内楽の伴奏者として、ヨーロッパ、日
本各地で広く活動している。〈タブラ
トゥーラ〉のほか、宗教音楽を演奏する
〈アンサンブル・エクレジア〉を主宰。また、
自らプロデュースするバルドンレーベル
から、多数の古楽CDを発表している。

田崎瑞博 (フィドル)

東京芸術大学器楽科卒業。「学歴は高
いが人間性は低い」と言われて久しいが、
根強いファンは多い。ヴァイオリン、ヴィ
オラ、チェロと弦楽器なら何でもこなす。
その器用さと生来の内気な性格がアン
バランスな魅力となって人気を呼ぶの
であろうか、と本人は言っている。〈古典
四重奏団〉〈音楽三昧〉〈ラ・スベランツァ〉
メンバーとして、それぞれのCDも発表。

江崎浩司 (リコーダー、ボンマー)

桐朋学園大学古楽科卒業。バロック・
オーボエ専攻。幼少の頃からリコーダー
をはじめ、おばあちゃんの愛情とジギス
スカンによってすくすくと育つ。野球少
年のかたわら音楽を続けるが、フランス・
ブリュッヘンの演奏を聴いて古楽の道
を決意。年齢のわりには老けているが、
タブラトゥーラ唯一の若者として人気者
である。

石森愛彦 (サズ・シターン)

桑沢デザイン研究所卒業。普段はイラ
ストレーターとしても活動。1997年には
個展も開催。一時期リュートを団長つ
のだに師事した、と言うが、団長は弟子と
は認めていない。中学時代「ガロ」(漫
画雑誌ではなく、ニュー・ミュージックの
グループ)のファンクラブ会員。高校時
代はラグビー部員(東京都予選決勝敗
退)。趣味は昆虫採集。

近藤郁夫 (パーカッション、ダルシマー)

国立音楽大学打楽器科卒業。とにかく
熱中しやすいタイプで、ロック、ジャズ、
クラシック、現代音楽、民族音楽…etc.
音楽であればジャンルにこだわらず、な
んでも好きになってしまう。そんなこん
なで人からは後ろ指をさされながらも、そ
れらの音楽が自分の中でひとつになる日
を夢見つつ、広く深くを目標に日夜奮闘中。

【びわ湖ホール友の会】会員募集中!

チケットの優先購入、情報誌、公演チケット情報の定期送付など、特典をいっぱいご用意しました。●年会
費=2312円(DCカード年会費を含む)●入会資格=18歳以上で安定継続収入のある方。または18歳
以上の学生の方(高校生を除く)●お問い合わせ・お申し込み=財団法人びわ湖ホール事業部広報営業課
TEL077-523-7137

オープニングコンサート 1. 悠久の響き〜知られざる雅楽の世界

千数百年の昔、唐の国からやってきた雅楽。宮廷人たちが聴いていた雅楽は、はるか時を超え、現代の
楽人たちによって新しい時代を迎える。●9月13日(日) 14:00開演●入場料=一般4000円/学生席
2500円(いずれも全席指定)●前売り開始 6月27日(土)/友の会優先発売開始 6月24日(水)

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806
滋賀県大津市打出浜1番1号

●交通のご案内

大阪から39分、名古屋から60分

(JR利用・大津駅着)

●JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より

徒歩約15分

●京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

●名神高速大津ICより約5分

(びわ湖ホール駐車場854台・有料)

